



議場ホールのぷくちゃん展示から



校長 建部 敦



芸術の秋、休日に山形市の文翔館を訪れた。山形ビエンナーレ（東北芸工大主催による2年に一度の芸術祭）の一環として、「現代山形考」という企画展示が行われていたからだ。

“昔々、山形盆地には「藻が湖（もがうみ）」という大きな湖があり、この湖に連なる奥羽山脈の麓を東根と呼び、対岸の寒河江には西根という地域があった…”という藻が湖伝説にまつわる美術系の展示は、大変興味深かった。だが、お目当ては何と言ってもダイカイギユウ「ぷくちゃん」の模型だった。ふれあい会館に常設展示されている「ぷくちゃん」が貸し出されていたからだ。

「ぷくちゃん」は議場ホールに実に堂々と展示されており、芸術祭プログラムの内容と相まって、県内外の鑑賞者から静かに興味深く見つめられていた。まさに久しぶりの晴れ舞台に立っているように思えたのである。

そして同じものを見ても、様々な企画やテーマのもと展示方法や展示場所を変えることにより、見え方や感じ方は変わるものだなと感じた。注目度も違う。そのことが新鮮で面白かった。何より、今回の企画がなければ目にすることがなかったかもしれない方々に見ていただけるのが、とてもいい。

思い至ったことがある。この秋から冬のはじめにかけ、子どもたちが授業でまとめた学びの成果や夏休みの課題作品の一部を、地区内や山形空港等に展示する機会をいただいているのだ。いつもとは違う場所で広く多くの方々から展示物を見ていただく絶好の機会。“子どもたちの励みになるのはもちろん、新しい発見や出会いにもつながるよ”と、議場の「ぷくちゃん」から教えられたような気がしたのだった。

9月の活動の中から・・・



ICT支援員の方を講師として、3～6学年でタブレットを用いたプログラミングの授業を行いました。

音楽をつくったり、図形を描いたり、都道府県を調べたりと、具体的な内容で集中して学ぶ様子が見られました。

今年度もJAさがえ西村山なす部会様より、給食用に大変おいしい“くろべえなす”をいただきました。

町内の給食分を3年生が代表して結城順二副会長様から受け取り、お話や質問を通して“くろべえなす”への理解を深めました。もちろん、とってもおいしくいただきました！



くろべえなす贈呈式(9/6)



バイキング給食大好き(9/9)

4年生がバイキング給食を行いました。長引くコロナ禍となっていますが、今年も安全面に最大限配慮しながら実施できてよかったです。

子どもたちは、栄養面や協力する心などを学びながら、楽しくおいしく会食することができました。

左小掲示板



夏の豪雨により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。また被災地域の一日も早い復旧を職員一同お祈り申し上げます。ご家族や地域の方々には子どもたちを安全に守っていただき、誠にありがとうございました。

※先月は学校だよりの発行がありませんでしたので、掲載させていただきました。

10月の予定

3日(月) PTA学年部街頭指導
小2英語活動

5日(水) 自由参観日〈午前中〉
校内持久走記録会

6日(木) 6年修学旅行(当初の予定から延期)

7日(金) 6年修学旅行

10日(月) スポーツの日

19日(水) 読み語り

22日(土) 左小祭

24日(月) 振替休業日(10/22分)

